



# 東京大学柏キャンパスへ ようこそ

THE UNIVERSITY OF TOKYO KASHIWA CAMPUS



# 知の冒険を目指して

柏キャンパスは、東京大学の21世紀における新たな学問の発展に向けた構想に基づいて建設された、本郷、駒場に次ぐ第3のキャンパスです。

東京大学は、創設以来130年間にわたり伝統的学問分野を深く究めてきた本郷キャンパスと、戦後60年間、複数の学問分野の接点において新たな学際的領域を開拓してきた駒場キャンパスを両極として発展してきましたが、ここに、学問体系の根本的な組み替えをも視野に入れた学融合を志向する柏キャンパスが加わりました。柏キャンパスではこのような「知の冒険」を目指してさまざまな新しい取り組みが行われています。大学院新領域創成科学研究科では「基盤科学系」、「生命科学系」、「環境学系」の3つの分野を中心に、「情報生命科学」を加えた新しい学問領域の創成を目指しています。物性研究所ではエレクトロニクスを始めとして現代の多様な産業を支える様々な物質の性質を根源から解明し、新しい物質の創成を目指しています。宇宙線研究所では宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。数物連携宇宙研究機構では数学と物理学の連携により宇宙の根本的な謎の解明に挑んでいます。さらに人工物工学研究センター、空間情報科学研究センター、気候システム研究センター、環境安全研究センター柏支所、柏図書館などが一体となって活動しています。

東京大学は新しい学問分野の創出を果敢に進めていくことによって、世界の学問をリードしていくことを目指しています。この中で、柏キャンパスは重要な役割を担うべく、また国際キャンパスとしての施設も充実させつつ飛躍的な発展を続けています。

## 柏キャンパスの歴史

東京大学は、千葉県柏市の北部、柏の葉公園などが隣接する敷地を、平成7年度と平成10年度に新キャンパス用地として取得し、平成11年度末に宇宙線研究所、物性研究所が移転してまいりました。その後、平成13年度に大学院新領域創成科学研究科生命科学系、平成15年度に大学院新領域創成科学研究科基盤科学系、平成16年度末に気候システム研究センター等4センター、平成17年度末に大学院新領域創成科学研究科環境学研究系の移転が完了し、平成21年度始めには教職員や大学院学生あわせて2,800余人規模の新しいキャンパスになりました。

### 〔平成11年度末移転〕

- 宇宙線研究所 (田無キャンパスから)
- 物性研究所 (六本木キャンパスから)

### 〔平成13年度移転〕

- 大学院新領域創成科学研究科 生命科学系 (本郷キャンパスから)

### 〔平成15年度移転〕

- 大学院新領域創成科学研究科 基盤科学系 (本郷キャンパスから)

### 〔平成16年度末移転〕

- 人工物工学研究センター (駒場キャンパスから)
  - 空間情報科学研究センター (駒場キャンパスから)
  - 高温プラズマ研究センター (本郷キャンパスから)
- (平成20年度より大学院新領域創成科学研究科に編入)
- 気候システム研究センター (駒場キャンパスから)

### 〔平成17年度末移転〕

- 大学院新領域創成科学研究科 環境学研究系 (本郷キャンパスから)

### 〔新設〕

- 保健センター柏支所〔平成12年度開所〕
- 環境安全研究センター柏支所〔平成15年度開所〕
- 柏図書館〔平成16年度開館〕
- 数物連携宇宙研究機構〔平成19年度設立〕

## 東京大学の概要

創立：明治10年4月(法理文・医) 総長：濱田純一 教育研究組織：10学部、15研究科、11研究所、18全学センター  
キャンパス：本郷地区(東京都文京区本郷)：559,176m<sup>2</sup> 駒場地区(東京都目黒区駒場)：352,213m<sup>2</sup>  
柏地区(千葉県柏市柏の葉)：320,452m<sup>2</sup> 総面積：326,173,884m<sup>2</sup> (99%を演習林等が占める)



# 柏キャンパスを構成する大学院・研究所・センター等の紹介

## ■大学院新領域創成科学研究科

「基盤科学系」、「生命科学系」、「環境学系」の3つの分野を中心に、「情報生命科学」を加えた新しい学問領域の創成を目指しています。

- 基盤科学研究系
  - 物質系専攻
  - 先端エネルギー工学専攻
  - 複雑理工学専攻
  - 基盤情報学専攻  
(平成20年4月工学系研究科へ移転)
- 生命科学系
  - 先端生命科学専攻
  - メディカルゲノム専攻
- 環境学研究系
  - 自然環境学専攻
  - 海洋技術環境学専攻
  - 環境システム学専攻
  - 人間環境学専攻
  - 社会文化環境学専攻
  - 国際協力学専攻
  - サステナビリティ学教育プログラム
- 情報生命科学専攻
- 附属生涯スポーツ健康科学研究センター（柏Ⅱ）
- 附属オーミクス情報センター
- 附属バイオイメージングセンター

## ■宇宙線研究所（全国共同利用研究所）

宇宙線の研究を通して宇宙や物質の起源に迫ろうとしています。

### 研究部門

宇宙ニュートリノ研究部門、高エネルギー宇宙線研究部門、宇宙基礎物理研究部門

### 附属研究施設

- 乗鞍観測所（岐阜県高山市）
- 明野観測所（山梨県北杜市）
- 神岡宇宙素粒子研究施設  
(岐阜県飛騨市神岡町)
- 宇宙ニュートリノ観測情報融合センター

## ■物性研究所（全国共同利用研究所）

エレクトロニクスを始めとして現代の多様な産業を支える様々な物質の性質を根源から解明し、新しい物質の創成を目指しています。

### 研究部門

新物質科学研究部門、物性理論研究部門、ナノスケール物性研究部門、極限環境物性研究部門、先端分光研究部門

### 附属研究施設

- 軌道放射物性研究施設
- 物質設計評価施設
- 中性子科学研究施設
- 国際超強磁場科学研究施設

## ■人工物工学研究センター

人間・人工物・環境のより良い関係と人工物の新たな価値創成を目指し、ライフサイクル工学、サービス工学、デジタル価値工学、共創工学、価値創成を研究対象とした個別の学問領域にとらわれない研究・教育活動を行っています。

## ■空間情報科学研究センター（全国共同利用施設）

空間情報科学に関する研究を行うと同時に、研究用空間データ基盤を整備・提供することで、全国の研究者の利用に供することを目的としています。

## ■気候システム研究センター（全国共同利用施設）

地球気候系を数値モデル化し、地球気候の形成や地球温暖化現象などの変化メカニズムの研究を行っています。また全国共同利用施設として気候モデリング基盤の整備にも当たっています。

## ■数物連携宇宙研究機構

世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムに選定され発足しました。現代基礎科学の最重要課題である暗黒エネルギー、暗黒物質、統一理論（超弦理論や量子重力）等の研究を数学、物理学、天文学の連携により進め、宇宙の起源と進化の解明を目指す融合型研究拠点です。

## ■柏図書館

東京大学3極構造の一角を担う柏キャンパスの中心的図書館として、柏キャンパスの基本理念である「学融合」の実現を学術情報から支援するだけでなく、学融合、知的創造、創造的な情報発信を行う場、研究拠点となることを目指しています。

## ■環境安全研究センター柏支所

周辺環境と調和のとれたキャンパスを目指して柏キャンパスの実験廃棄物受入処理業務を行っています。

## ■保健センター柏支所

柏キャンパスの学生・教職員の健康管理及び診療を行っています。

## ■柏地区事務部

柏地区の事務全般を横断的かつ縦断的に行い、キャンパスのアクティビティを支援しています。

新領域担当課、宇宙線研担当課、物性研担当課、経理担当課、センター支援グループ、渉外・広報担当グループ、人事・労務グループ、給与・施設グループ、数物連携宇宙研究機構事務部門

## 柏キャンパスを構成する人々

区 分	教 職 員 数				大 学 院 学 生 ・ 研 究 生 数			
	教員	技術職員	事務職員	計	修士	博士	研究生	計
新領域創成科学研究科	183〔73〕	〔6〕	〔1〕	183〔80〕	1,019	481	36	1,536
宇宙線研究所	33〔20〕	8		41〔20〕	19	20		39
物性研究所	85〔27〕	36		121〔27〕	88(41)	46(14)	3	137(55)
人工物工学研究センター	6〔6〕			6〔6〕	15	9		24
空間情報科学研究センター	11〔8〕			11〔8〕	1(23)	2(5)	1(1)	4(29)
気候システム研究センター	9〔21〕	〔1〕		9〔22〕	11(5)	16(4)		27(9)
領域創成プロジェクト	1〔8〕			1〔8〕				
数物連携宇宙研究機構	1〔42〕		〔8〕	1〔50〕				
環境安全研究センター柏支所	1			1				
保健センター柏支所		2	1	3				
柏 図 書 館			7	7				
柏 地 区 事 務 部			84	84				
合 計	330〔205〕	46〔7〕	92〔9〕	468〔221〕	1,153	574	40	1,767

- 注) 1. 教職員数は、平成21年度4月1日現在の現員。〔 〕数字は外数で、特定有期雇用教職員  
 2. 学生数は、平成21年4月1日現在の現員。( )数字は外数で、大学院新領域創成科学研究科に所属する学生数  
 3. 数物連携宇宙研究機構の事務職員〔 〕数字は、特任専門職員等  
 4. 研究所及びセンターでは、協力講座として次のとおり大学院教育を行っています。  
 (1)宇宙線研究所では、大学院理学系研究科物理学専攻  
 (2)物性研究所では、大学院理学系研究科物理学専攻・化学専攻・地球惑星科学専攻、大学院工学系研究科物理工学専攻、大学院新領域創成科学研究科物質系専攻・複雑理工学専攻  
 (3)人工物工学研究センターでは、大学院工学系研究科精密機械工学専攻・環境海洋工学専攻・システム創成学専攻  
 (4)空間情報科学研究センターでは、大学院情報理工学研究科電子情報学専攻、大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻・社会文化環境学専攻、大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、大学院工学系研究科社会基盤学専攻・都市工学専攻、大学院経済学研究科理論経済専攻・現代経済専攻、公共政策学教育部(公共政策大学院)  
 (5)気候システム研究センターでは、大学院新領域創成科学研究科自然環境学専攻、大学院理学系研究科地球惑星科学専攻  
 5. 宇宙線研究所・物性研究所(全国共同利用研究所)及び気候システム研究センター・空間情報科学研究センター(全国共同利用研究施設)を利用して、全国の国公立大学等の研究者が、共同利用研究に従事しています。  
 これら共同利用研究者は年間延べ10,000人を超え、研究・情報交流の場として柏キャンパスを訪れています。  
 6. この他に短時間勤務有期雇用職員(非常勤職員)約370名が教育研究支援業務に携わっています。

### 参考 東京大学の教職員・学生数

教職員数：教員3,890名、職員3,747名、総数7,637名(平成21年5月1日現在)

学生数：平成21年5月1日現在

学 部 学 生 14,197名(外国人留学生253名、女子学生2,725名いずれも内数)

大学院学生 14,327名(外国人留学生2,255名、女子学生4,082名いずれも内数)

## 柏キャンパス共同学術経営委員会

柏キャンパスの各部局に共通する学術経営に関する事項を審議、決定する組織として柏キャンパス共同学術経営委員会が設置されています。

### 〔任 務〕

- (1) 柏キャンパスに所属する部局から委員会に委託された事項
- (2) その他、部局に共通する学術経営に関し必要な事項

## 柏キャンパス・アメニティ室

柏キャンパス共同学術経営委員会の任務の遂行を補佐するため委員会のもとに、柏キャンパス・アメニティ室が置かれています。

### 〔任 務〕

- (1) 施設整備に関する事項
- (2) 環境・防災に関する事項
- (3) 福利厚生に関する事項
- (4) その他、委員会が適当と認める事項

## 柏キャンパス・リエゾン室

柏キャンパス共同学術経営委員会の任務の遂行を補佐するため、委員会のもとに、柏キャンパス・リエゾン室が置かれています。

### 〔任 務〕

- (1) 学術経営の企画に関する事項
- (2) 柏キャンパスと関係する諸機関（千葉県・柏市他）・団体などとの渉外に関する事項
  - ① 千葉県総合教育センターとの地域連携による教員研修の実施に関する事
  - ② 千葉県との地域連携による高校生に対する連携講座に関する事
- (3) 柏キャンパス全体の広報に関する事項
  - ① 一般公開に関する事
- (4) その他、委員会が適当と認める事項

## 柏キャンパス・安全衛生管理室

柏キャンパス共同学術経営委員会の任務の遂行を補佐するため、委員会のもとに、柏キャンパス・安全衛生管理室が置かれています。

### 〔任 務〕

- (1) 柏キャンパス内の安全衛生管理活動の企画及び立案に関する事項
- (2) 柏キャンパス内の安全衛生管理状況の把握と指示に関する事項
- (3) 安全衛生関係の教育及び広報活動に関する事項
- (4) その他柏キャンパス内の安全・衛生に関する事項

## 地域・社会との連携・交流や知的啓発

柏キャンパスでは、柏キャンパス構成部局はもとより、地元の千葉県、柏市、柏市商工会議所等の協力のもと、「地域・社会との交流や知的啓発」事業を推進しています。

### ■サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト (SPP) (講座型学習活動)

- 大学等と高校との連携により、高校生の科学技術・理科、数学に関する興味・関心と知的探究心等を一層高める機会を充実することを目的とした本事業に、東京大学から独立行政法人科学技術振興機構に申請し採択されています。
- 千葉県教育委員会のご協力のもと、県内の高校生の希望者を対象に、柏キャンパスの教授陣が最先端の科学研究の内容を直接講義する体験的科学学習を、夏休み期間中2日間にわたり実施しています。

### ■理数系教員指導力向上研修(希望型)

- 大学等において、中学・高等学校の教員を対象とした科学技術・理科、数学に関する研修を行うことを目的とした本事業に、県総合教育センターから柏キャンパス等と連携した教員研修を申請し採択されています。
- 本事業は、東京大学柏キャンパスにおいては夏休み期間中2日間にわたり実施しています。

### ■一般公開(オープンキャンパス)

- 平成13年度から毎年10月末の金曜日、土曜日に開催。毎年4,000～5,000名が訪れております。
- 平成21年度は、10月30日(金)、31日(土)の2日間を予定しています。

### ■柏市工業祭への出展

- 柏市の工業のすぐれた製品を一堂に集め、展示・即売等により市民及び近隣住民に宣伝を図り、柏市工業の振興に寄与する目的で開催される柏市工業祭に出展参加しています。
- 平成21年度は大学院新領域創成科学研究科から出展予定です。

### ■一般講演会

- 柏市並びに柏商工会議所のご協力のもと、一般市民向けにノーベル賞受賞者等を招いた講演会を平成11年度から実施しています。
- 平成21年度は、4月に宇宙線研究所と数物連携宇宙研究機構が実施しています。物性研究所は10月に実施の予定です。

### ■東京大学柏図書館友の会

- 柏図書館には「友の会」があります。図書館の支援、会員相互の交流、地域との連携をめざしています。この目的に賛同なさる方なら、どなたでも入会することができます。ただし、小中高の児童生徒には入会資格はありません。
- 会員は、柏図書館の開架図書館外貸出が受けられ、館内1階の施設を利用することができます。また、会員には、上映会やコンサートの案内が毎回郵送されます。

## 柏キャンパスの産学連携、地域連携等

東京大学では本郷キャンパスに産学連携本部を設置し、大学から産業界への技術移転を促進するための様々な方策が検討されています。大学が所有する知的財産は、広く社会に活かされることを待ち望んでいます。

起業を志す方への技術的相談、起業化に向けた諸問題解決への相談等の道も開かれています。

### ■「東葛テクノプラザ」との連携

#### 産官学連携セミナー

- ・大学等の研究者と起業の経営者との新たな出会いの場となり、将来的な産学連携による共同研究等へ結びつけるため講演と研究室見学を実施しています。



## 大学研究交流オフィス

- ・東葛テクノプラザ内に多彩な研究者の方々による技術相談・指導に応ずる事業を無料で行っています。  
(担当: 東京大学柏キャンパス・リエゾン室)

## 夏休み科学教室

- ・次世代を担う子供たちの科学的視野を養成するとともに、モノづくりの大切さ・楽しさを伝えることを目的として毎年開催されています。
- ・平成21年度は、物性研究所秋山准教授が担当しています。(8月に実施予定です。)

## ■大学連携型企業家育成施設「東大柏ベンチャープラザ」との連携

- 中小企業基盤整備機構(旧: 地域振興整備公団)が、新事業創出促進法に基づき、新製品・新技術の研究開発や新分野への進出を目指す、中・小ベンチャー企業等を支援するために設置し、平成16年8月にオープンしています。
- 「東大柏ベンチャープラザ」は、大学教員の研究成果に基づいた、ベンチャー企業の育成施設としての使命を担い、産学連携支援体制の確立を目指しており、隣接する千葉県の企業家育成施設である「東葛テクノプラザ」との連携を図りつつ、大学発ベンチャーの発展が期待されています。
- 入所企業の約3分の1が東京大学教員の研究成果に基づいた企業であり、これらを含めて約半数が大学発のベンチャー企業です。

## ■地域との研究交流事業等

### 大学コンソーシアム柏

柏市内及び近隣の知的資源を生かしたまちづくりを一層推進し、大学とまちがともに成長しながら魅力を多様に高めていくため、大学コンソーシアム柏を設立し、4つの分科会(「健康づくり」、「国際化」、「手賀沼」、「学びと実践」)を立ち上げ積極的に活動しています。

### 柏の葉キャンパス駅周辺のまちづくり連絡会議(平成16年2月から)

平成17年8月24日開業の「つくばエクスプレス」柏の葉キャンパス駅周辺は、産官学との連携による産業クラスターの形成等に向けた、質の高い「まちづくり」が求められていることから、千葉県、柏市、都市再生機構、千葉大学等と共に、東京大学柏キャンパスからも参加しています。

### 柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)

柏の葉キャンパス駅前に設置された柏の葉アーバンデザインセンターに参画し、大学から研究成果やアイデアなどを発信しています。平成20年には「柏の葉国際キャンパスタウン構想」を千葉県や柏市、千葉大学との共同研究として策定しました。UDCKは、構想の実現にむけて継続的な調査や社会実験を進めており、大学と地域や行政、企業との「公民学連携」の拠点となっています。

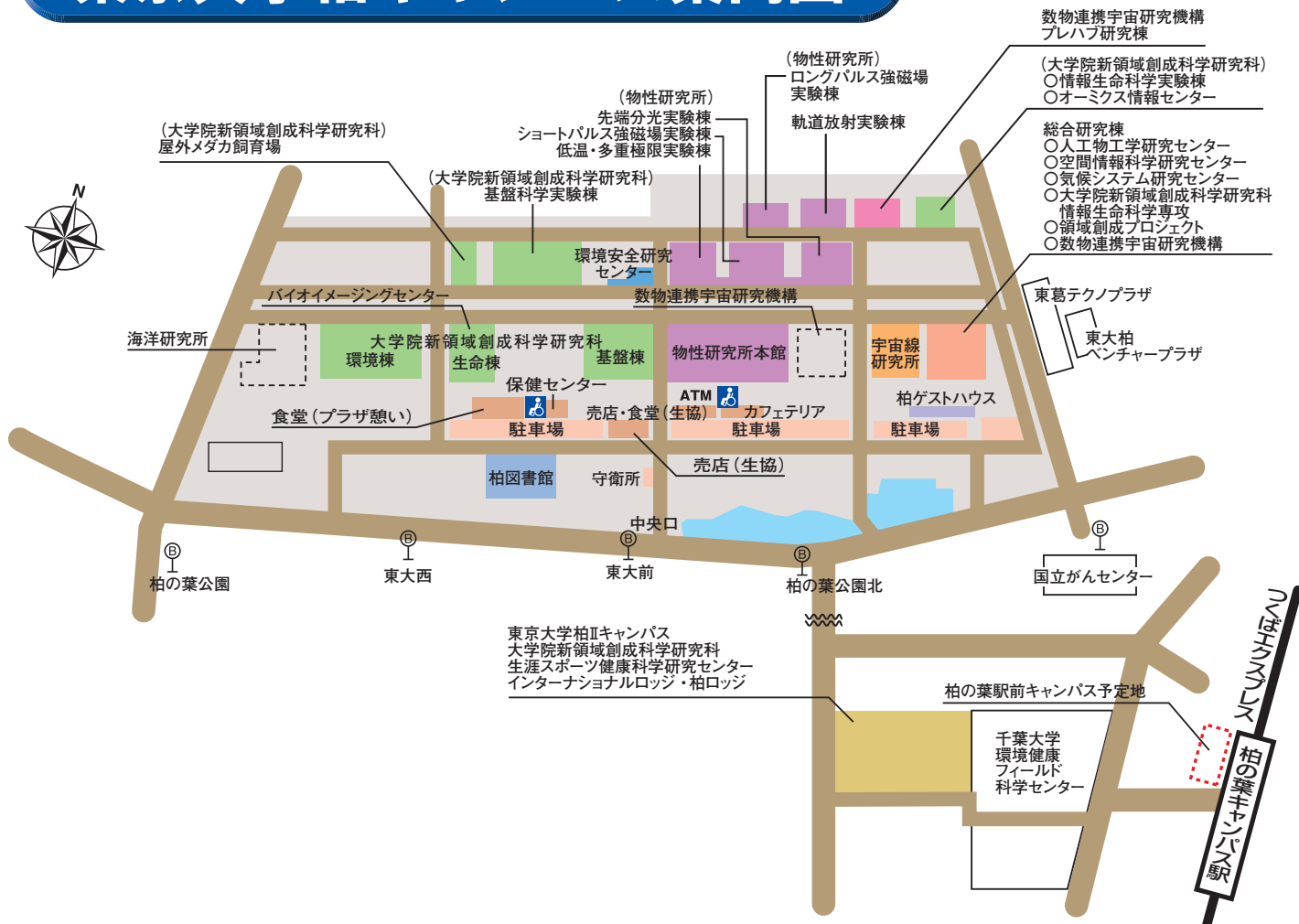
## 領域創成プロジェクト

領域創成プロジェクトは、新しい分野について独創性に優れた先端的研究のために、全学的な研究の拠点を形成することを目指し、平成16年に発足しました。現在、柏キャンパスを中心に、「学術統合化プロジェクト」を始め、「気候・環境問題に関わる高度複合系モデリングの基盤整備に関するプロジェクト」、「学際バリアフリー研究プロジェクト」など、創造性と学際性に富んだ9件の研究プロジェクトが進行中です。

小宮山前総長の主導で発足した「学術統合化プロジェクト」では、個別の知識だけでは問題が解決しない、あるいは実体に迫ることが困難な、生命現象や環境問題に切り込む新しい学問分野の構築を目指しています。高度に細分化された自然科学の諸分野をスケールや領域を超えて統合し、それらの全体像を理解可能な形で提示し、科学と人間との間の橋渡しを行うために、現在、「ヒト」「地球」の2プロジェクトが、柏キャンパスにおいて活動しています。

\* 地域連携、産学連携等に関するお問合せ等は、渉外・広報室にご連絡下さい。電話04-7136-3106

# 東京大学柏キャンパス案内図



## 柏地区キャンパスへの経路

- 柏の葉キャンパス駅西口(つくばエクスプレス線)より
  - <東武バス利用>西柏03柏の葉キャンパス駅行(税関先回り循環又は、柏の葉公園中央先回り循環)→「東大前」下車/西柏04江戸川台駅東口行→「東大前」下車
  - <徒歩>約25分
- 柏駅西口(JR常磐線、東京メトロ千代田線)より
  - <東武バス利用>西柏01国立がんセンター行(柏の葉公園経由)→「東大前」下車/西柏44国立がんセンター行(税関研修所経由)→「国立がんセンター」下車
- 江戸川台駅東口(東武野田線)より
  - <東武バス利用>西柏04柏の葉キャンパス駅西口行→「東大前」下車
  - <徒歩>約30分
- 常磐自動車道 柏IC
  - 千葉方面出口から国道16号線へ500m先「十余二工業団地入口」交差点を右折

